

# COVID19緊急調査③ 結果

令和2年12月16日

【対象】 訪問看護ステーション協議会 会員施設 352施設

【調査期間】 令和2年11月25日（月）～12月4日（金）

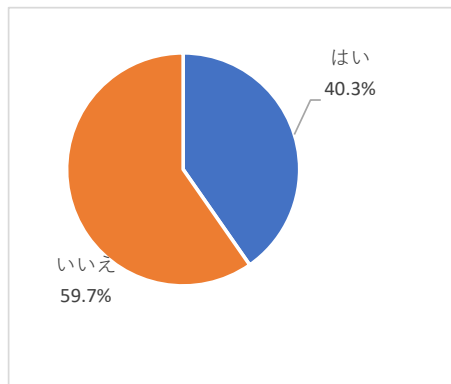
## 【結果】

回答数 253施設

回答率 71.9%

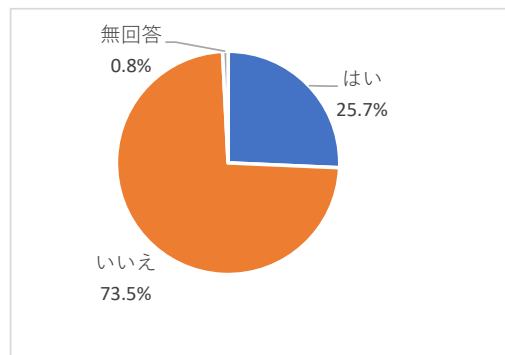
### 1. 職員が感染した場合、他事業所へ利用者を依頼する連携体制は整っていますか。

はい	40.3	102
いいえ	59.7	151
合計	100.0	253



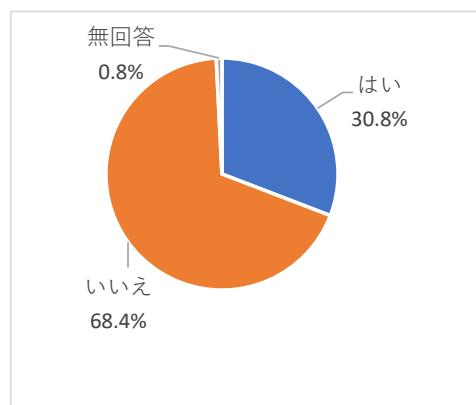
### 2. 職員が感染した場合、他事業所との看護職員の応援体制は整っていますか

はい	25.7	65
いいえ	73.5	186
無回答	0.8	2
合計	100.0	253



### 3. 防護具等、物資の不足はありますか。

はい	30.8	78
いいえ	68.4	173
無回答	0.8	2
合計	100.0	253.0



#### 【不足する物資の主な回答(記載件数)】

マスク	30	ガウン	6
手袋	26	アルコール	6
グローブ	13	フェイスシールド	5
消毒	8	防護服	5
エプロン	7	ゴーグル	3

4. 現在、訪問看護で困っていること等を教えてください。

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院のようにゾーニングがしっかりできない。</li> <li>・ 誤嚥性肺炎や、がん終末期の発熱など、熱の原因があり、COVID-19感染とは診断されていない利用者に、どこまでの感染予防策をとるとよいか迷う。</li> <li>・ 所内ミーティング等、所内での3蜜注意を徹底する事に留意している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が減少している。</li> <li>・ 直行直帰体制をとっている。電子カルテ化を進め今後タブレットを使用して連携を図るが、定期的なカンファレンスができず、スタッフの顔を見てのディスカッションが出来ない難しさがある。新規の利用者を紹介し合うことは出来ても現在の利用者をすぐに訪問依頼し合うことは難しい。</li> <li>・ 医療依存度が高い方や小児の場合等は他事業所への依頼は現実的ではない。一時閉所になった時は個別対応で方法を考えていくしかないと考えている。</li> <li>・ 感染予防対策として手洗い、手指の消毒、マスク、フェイスシールドの着用を行っているが、田舎の方に訪問すると「何でそこまで」と不審がられることがある。</li> <li>・ コロナ感染が心配と訪問看護を中止される。</li> </ul> <p>退院患者が多く、他との連携を検討してみるがどこも大変な状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が濃厚接触者や陽性者になった場合の連絡が遅い。事業所間の連絡はケアマネジャーを通じて行うことが多いが、ケアマネに報告をすることが遅い。陽性反応が出てからでは、利用者が濃厚接触者となり更に感染者が増える危険がある。PCR検査を受けた時点での連絡がもらえれば他への感染が予防できるのではないかと。</li> <li>・ ステーションの中で濃厚接触者とならないようにするには、スタッフの配置や時間差での出勤など考えていますが、利用者の要望まで聞いていると、シフトがうまくまわせないのが現状です。事業所内での会議などもやめるのかどうか、考えているところです。</li> </ul>
業務負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人1人の利用者ごとに着がえているため、荷物の多さと洗たくの多さが大変だ。</li> <li>・ 利用者がデイサービスを休むことが多くなり、訪問回数が増加している。</li> <li>・ タブレット化していないため、直行直帰できない。</li> <li>・ 在宅ワークや分散での業務体制が整わない。</li> </ul>
経済面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員にPCR検査をした時の費用がどうなるのか心配である。</li> <li>・ コロナで収支のバランスが崩れており、運営に困っている。</li> <li>・ コロナで収入が減少している。</li> </ul>
情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染者や濃厚接触者の情報が遅れたり、誤った情報で混乱したことがあった。早い時期に正しい情報がほしい。</li> <li>・ 感染状況が限定された情報しかない。</li> <li>・ 陽性者発生の連絡が遅く、利用者に濃厚接触の疑いが出て知らされず、訪問後に知ることが多い。</li> <li>・ ナーシングホーム等で感染者が出ているにも関わらず、ステーションに連絡がなかった為、対応力が遅くなった。</li> <li>・ 他ステーションやクリニック、病院から情報が入ってこない。</li> <li>・ 他ステーションではどのような対応をしているか、緊急包括支援金で何を整備したか？などが知りたい。前回のアンケート結果は大変参考になった。</li> <li>・ 地域で感染者が出た場合はいち早く情報を得たいが、行政にも情報が入らないとのことで対応に限界がある。</li> <li>・ 感染者の対応方法のマニュアルや動画などがほしい。</li> <li>・ 感染者、濃厚接触者の情報が遅い。タイムリーな情報があると対応しやすいと思う。</li> <li>・ 訪問後に利用者が陽性であるとわかり困った。</li> <li>・ 後から感染情報がくる為、訪問を不安に感じる</li> <li>・ 愛知県内での新型コロナウイルス感染者情報がリアルタイムで把握できない。訪問した際に、初めて身近な人の感染情報を聞くことがあり怖い。</li> </ul>
職員の感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員、利用者から陽性者がでたら、どうしたらよいか不安になる。</li> <li>・ 職員の家族の知人が濃厚接触者になった場合に訪問を続けて良いか、迷いながら業務にあたっていた。常に危険が伴うことに不安を感じる。</li> <li>・ 職員から感染者が出た場合の対策をしなければと思うが、その余裕がない。</li> <li>・ 職員が感染した場合、常勤換算の緩和措置はあるのか？</li> <li>・ 感染者が出た場合、利用者様への対応をどうしたらよいか、緊急患者の対応をどうしたらよいか等不安はたくさんある。</li> <li>・ 発熱者が多く、対応に苦慮している。常に感染の危険性があるため、普段の業務の中での不安感が強い。</li> <li>・ 2月末から直行直帰、テレワーク、オンライン会議、オンラインカンファを行い、蜜にならないようにしているが、職員が感染した場合の対応をどのようにしたらよいか困っている。</li> <li>・ 職員や利用者から感染者が出た場合の対応を考えると、強いストレスを感じる。</li> <li>・ 職員にCOVID-19感染が発生した場合の事業の継続（利用者へのケアの提供）についての不安がある。</li> </ul> <p>看護職員の家族への感染の不安がある。</p>

人員不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員本人や家族にかぜ症状があれば2日間の休みとしているが、事業(訪問)に支障が出る。</li> <li>発熱、咳で職員が休んだ場合、サービスが提供できなくなる可能性がある</li> <li>● コロナ関係でスタッフの確保がむずかしい(「人員不足」の記載6件)</li> </ul>
物品不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染者が出たらすぐに不足してしまいそうなので、その場合すぐに配達・補充して頂けると助かる。</li> <li>防護具等物資が高騰しており準備が難しい。</li> <li>現在は不足していないが、今後が心配である。</li> <li>手袋が入手しづらくなっている。また、高額なためしばらく購入できていない。職員が感染した場合の事業所運営に不安がある。</li> <li>感染対策で一番使う手袋が値上がりしている。</li> <li>ディスポグローブが高騰している。手に入らない。</li> <li>物品は手に入るようになって、価格の上昇や従来の商品の欠品などに困っている。</li> <li>手袋や体温計、SpO2モニターの価格が高騰しており、困っている。</li> <li>利用者に準備いただく手袋当の物品が不足している。</li> <li>今は緊急包括支援金などで購入できているが、今後、価格変動する中で安定した供給ができるか不安である。</li> </ul>
判断に迷う	<ul style="list-style-type: none"> <li>原因不明の発熱があった利用者の訪問をどうするか、その都度判断に迷っている。</li> <li>発熱状況が様々なので、防護服着用での訪問対応か、訪問を中止するか等の判断が難しい。</li> <li>緊急事態宣言がでると、事業所としての対応を改めて検討する必要があると常に思っている。</li> <li>どの段階で出勤や訪問を控えるべきかの基準がない。例えば、スタッフの家族の職場や学校で陽性者が出て、スタッフの家族が濃厚接触者の疑いがある時点での出勤や訪問を控えるべきか判断に悩む。</li> <li>利用者や家族の発熱時の対応</li> </ul>
利用者に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者にマスクをしている人が少ない。</li> <li>発熱があると「コロナか？」と聞かれる。受診の案内やタイミングなどの判断をゆだねられて悩む</li> <li>認知症の方には感染対策を行って頂くことが大変難しいが、訪問しないといけないという状況である。何か身体症状があると訪問看護に原因があると家族や本人から責められことが日常的にある。又、手袋、マスクを着用することについて、“自分達が(利用者)汚いのか？”と快く思わない方もある。職員のストレスは限界に達している。病院ばかりが注目されているが、在宅医療の面もいかいされるように働きかけて頂きたい。</li> <li>精神科患者中心なので、理解されない方が多くソーシャルディスタンスがとりにくい。</li> <li>利用者が情報不足である。また、ご高齢や認知力低下により、気をつけてほしい事が守って頂けない事がある。</li> </ul>
連携に関する事	<ul style="list-style-type: none"> <li>休業要請が下りた場合のアンケートをとった。約3割が他事業所の訪問を希望しているが、管理者の横のつながりができておらず困っている。また、その場合の指示書や、ケアマネの計画、契約はどうなるのかレセはどうなるのかわからないと思う。</li> <li>感染した場合の連携、応援体制をどうしたらよいか。</li> <li>職員が感染した場合の応援体制を整えていない。</li> <li>市内にステーションは1つしかなく、市外の事業所との連携体制が整っていない。現時点では、各主治医と介護サービス事業所と連携し、対応できるように整えているが、一時閉鎖になった場合の対応に不安がある。</li> <li>連携体制はとれているものの、当事業所は年中無休で、他事業所は土日祝休みが多いため、いざ感染者が出ると困ってしまう。</li> <li>● どのように体制を整えればいいのか、わからない。(2件)</li> <li>千種区では他事業所との連携体制を構築中である。</li> <li>区内のステーションとの連携はとってますが、全利用者の依頼は難しいと感じている。</li> <li>● 連携体制が整っていないことが不安である。(10件)</li> <li>● 管理者同志で話していても、具体的な手順などの準備がない。(5件)</li> <li>地域の連絡会に参加しているが、具体的な応援体制が整っていないため不安である。</li> <li>地域のステーション連絡協議会で連携体制を整えていけるよう調整中だが、なかなか進まない。</li> <li>連携がしづらい。オンラインの提案をしているが、なかなか環境が整わない。</li> <li>実際感染者が利用者に職員に出た場合、体制が整っていないので困る。</li> <li>市内の事業所間で連携しあえると良いが、難しい。</li> <li>広範囲な訪問をしているため、他事業所との連携が難しい。</li> </ul>
要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>土日祝でも相談できる窓口を開設してほしい。</li> <li>勉強会など参加したくてもできない状況であるため、オンライン講習を増やしてほしい。</li> <li>こういったアンケートを適宜行い、実態把握や情報提供などしてほしい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修が受けにくい、web研修をうけたがらない。</li> </ul>